

令和 2 年 2 月 1 3 日 (木) 第 3 回 東淀川区在宅医療連携研修会

1. 講演：「地域包括ケアにおける意思決定支援と ACP」

佛教大学保健医療技術学部 看護学科 准教授 濱吉 美穂先生

2. もしバナカード

日本における ACP の定義やとらえ方、事前指示書とその課題等についてわかりやすく講義をして頂きました。

事前指示書は、本人の代わりに医療の決定を行う代理人の負担が大きい事や、書面がどこにあるかわからなくなること。また、記載者の状況変化に対応しきれない場合がある（想定外の状況に陥った場合に使えない）などの課題がある。

ACP では、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスであり、年齢を問わず健康な時から機会を持ち、繰り返し話合うこと。どのような医療やケアを望んでいるかについて、自らが考え、その考えたことを信頼する人たちと話し合うことが大切である事を学びました。

もしバナカードでは、各グループで会話が弾み、価値観や死生観・人生観等多様である事に改めて気付きました。

